

2014 年度阪神共同福祉会法人事業報告

基本方針

法人理念「阪神共同福祉会は、すべての人の命を大切にし、地域福祉の担い手となる」を具体的な事業、活動を通じて役職員の中に定着させる努力をしてきました。

地域福祉の担い手となれるよう、新事業として、高齢者部門で「小規模多機能型居宅介護園田苑」「デイサービスセンターZen」「地域サポート型特養」を、保育部門では、民間移管「浜保育園」を立ち上げました。その他できるだけ地域に出向き交流の場を作ってきました。

高齢者と保育の子どもたちの交流や子どもまつり、夏まつり、水辺まつり、雪まつりなど行いました。

阪神大震災 20 年を迎え、浜小学校で地域防災訓練があり、浜つばめ保育園、浜保育園が地域の人たちと一緒に参加しました。園田苑でも、小中島地域住民主催の防災訓練に園田苑入居者、ご家族、職員とともに参加をしました。

また、法人職員全体研修では、「接遇マナー」を行いました。法人全体で職員数も増えてきたので、聖トマス大学の講堂を借りて昼の部、夜の部の二回講演を濱島しのぶ氏にさせていただきました。普段気にしなかったところを発見したり、たくさんのことを学びました。新人層の問題ではなく、リーダー自身が見本を見せて気持ちのいい職場を作ってほしいと思いました。

引き続き、法人通信『かがやき』は年 4 回発行することができました。